

## 貸借対照表

(2019年9月30日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流 動 資 産</b>	<b>2,488,291</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>2,146,602</b>
現金及び預金	1,050,286	買掛金	339,898
売掛金	420,166	未払金	1,269,440
未収入金	532,833	預り金	488,370
商 品	146,532	そ の 他	48,892
関係会社短期貸付金	300,000		
そ の 他	38,472		
<b>固 定 資 産</b>	<b>31,611</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>2,146,602</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>2,116</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
工具器具備品	10,909	<b>株 主 資 本</b>	<b>373,299</b>
減価償却累計額	△8,793	<b>資 本 金</b>	<b>30,000</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>3,026</b>	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>343,299</b>
ソフトウェア	1,071	<b>利 益 準 備 金</b>	<b>7,500</b>
そ の 他	1,955	<b>そ の 他 利 益 剰 余 金</b>	<b>335,799</b>
<b>投 資 そ の 他 資 産</b>	<b>26,469</b>	繰越利益剰余金	335,799
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>373,299</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>2,519,902</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>2,519,902</b>

(注) 記載内容には、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 注 記 表

## 1. 重要な会計方針に係る事項

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### イ. 時価のない出資金

組合等の財産の持分相当額を出資金として計上し、組合等の営業により獲得した損益の持分相当額を損益として計上する方法によっております。

### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

#### イ. 有形固定資産（リース資産を除く）

##### 定率法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品・・・・・・・・・・・・・・3～5年

#### ロ. 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用見込可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

### (3) 重要な引当金の計上基準

#### イ. 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担すべき額を計上しております。

#### ロ. 返品調整引当金

期末日に予想される売上返品による損失に備えるため、過去の返品率等を勘案し、将来の返品に伴う損失予想額を計上しています。

### (4) その他計算書類作成のための重要な事項

#### イ. 消費税等の会計処理・・・・・・・・・・・・税抜方式

#### ロ. 連結納税制度を適用しております。

## 2. 当期純利益金額

95,586千円